

新規反応場としての微細気泡の工学的体系と活用法、微細気泡を利用した二酸化炭素の固定化、工場排水処理、土壌改良、医療器具・野菜・ペット洗浄などへの応用例の紹介を中心とした講演会・見学会・技術交流会を新たに企画しました。マイクロ・ナノバブル技術にご興味・ご関心のある研究者及び現場技術者は奮ってご参加下さい。

## 第7回「微細気泡の応用技術」講演会

<http://www2.scej.org/cre/rf/index.html>

- ・主催：化学工学会反応工学部会「反応場の工学 分科会」
- ・協賛：日本海水学会、技術士協同組合、NPO日本技術経営責任者協議会、日本産業洗浄協議会  
JSTイノベーションサテライト茨城
- ・日時：2010年 11月19日（金）13:30～17:10（受付13:00～）
- ・場所：千葉工業大学 津田沼キャンパス 新1号棟2階 会議室  
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1、TEL 047-478-0415（尾上研究室）  
<交通> <http://www.it-chiba.ac.jp/index.html>  
JR総武線「津田沼」駅から徒歩3分

### ・プログラム：

#### 1) 講演会： [共通テーマ；洗浄・殺菌・医療]

13:30-13:40 開会挨拶と連絡事項

千葉工業大学工学部 教授 尾上 薫

13:40-14:30 「マイクロバブルの基礎と固体表面の洗浄」

産業技術総合研究所 主任研究員 高橋 正好

14:30-15:20 「CO<sub>2</sub>マイクロバブルの応用に依る食品・飲料の殺菌技術」

明治大学農学部 教授 早田 保義

15:30-16:20 「超音波工学とマイクロバブルおよびキャビテーションバブル  
- 医療および産業、環境分野への応用 -」

桐蔭横浜大学医用工学部 教授 竹内 真一

16:20-17:10 「導電性ポリマーを用いる環境調和型活性酸素連続発生装置」

桐蔭横浜大学工学部 准教授 齋藤 潔

#### 2) 技術交流会 (17:20-18:20)

- ・参加費：主催・協賛団体の個人正会員：4,000円、学生会員：1,000円、その他：6,000円、技術交流会参加者は上記金額にプラス2,000円（学生はプラス1,000円）  
（当日会場にて徴収致します。）
- ・申込み方法および申込み先：参加ご希望の方は、(1)参加者氏名、(2)所属と職位、(3)所属する主催・協賛団体名もしくは非会員の場合はその旨、(4)交流会参加希望の有無を明記の上、電子メールにて下記の松本宛にお申し込み下さい。

〒275-0016 習志野市津田沼2-17-1 千葉工業大学工学部生命環境科学科 尾上 薫  
(連絡窓口) 千葉工業大学工学部 松本 真和

Tel: 047-478-0415, E-mail: [masakazu.matsumoto@it-chiba.ac.jp](mailto:masakazu.matsumoto@it-chiba.ac.jp)